



赤屋小だより



令和2年度
安来市立赤屋小学校
R3. 1. 20第17号
文責 勝部 篤

3学期の重点目標:やさしく 思いやりのある子

ホームページ:赤屋小で検索ください

明けましておめでとうございます

白雪が 積もる山奥 輝いて

この句は、6年生の田部夏帆さんが詠んだ句です。新しい年を迎え、この句のように地域の皆様、保護者の皆様も輝いた気持ちになっておられることと思います。今年が丑年ですね。赤屋っ子たちも牛のようにどっしりと、一步一步確実に進んでいけたらと思います。また、赤屋小学校にとって、創立50周年にあたる記念すべき年でもあります。いつも以上に地域の皆様、保護者の皆様にとって素敵な1年になりますよう、お祈りいたします。本年もよろしくお祈りいたします。

さて、年末からの大雪で1月8日が臨時休業となり、3連休をはさんで12日に始業式を行いました。まず、学年の代表が新年の決意を発表しました。みんな元気一杯、やる気一杯の発表でした。それから「皆さんは赤屋小がすきですか。」と聞くと、「はい。」と返事が返ってきました。3学期は、さらにバージョンアップして「すきな学校」に「て」を加え、「すてきな学校」にしていこうと話しました。1学期取り組んだ「明るく たくましい子」、2学期頑張った「考え作り出す子」、そして3学期は「やさしく 思いやりのある子」になるよう、みんなで頑張っていきます。



集中して取り組む
野々村進次郎さん

書初めて 気合を入れる 新年だ
細田未来叶さん

学習公開日(1/13)

雪の残る中をお出かけいただきありがとうございました。今回は性に関する授業を公開しました。

1、2年生は「たいせつなからだ」ということで人の体の部位や働きを知り、体について関心を持ったり、自他の体を大切にしようとしたりする態度を育てることをねらいとしました。



3、4年生は「アニメ・マンガとわたしたち」ということで、子ども達の身近にあるアニメやマンガの中の人権問題に気づき、正しく判断したり、自分の考えを持ったりすることをねらいとしました。

5、6年生は「ネットと上手につきあおう」ということで、ぽよぽよクリニック田草雄一先生を講師に迎え、お話を聴きました。正しい情報を選ぶこ



との大切さや、情報に関するトラブルから自分で自分を守っていくことの大切さを学びました。その後、保護者の方に向けて、スマートフォンの利用やラインアプリの使用と学力との相関関係についてお話がありました。スマートフォンについては「全く使用しない」より「1時間以内」が、一番学力が高く、「1時間より長く」なるにつれてだんだん学力が下がるのに対し、ラインは使用時間が長くなれば、それに応じて学力は下がっていくという結果でした。集中力が途切れるという理由でした。上手にメディアとつきあい、生活を充実したものにしていきたいと思います。

学校保健委員会(1/13)

学習公開日にあわせ、5、6年児童、保護者様、学校評議員様、教職員による学校保健委員会を行いました。本校スクールカウンセラー（SC）である浦木綾子先生を講師に、「不安や悩みの対処法」について考え、新たな方法についても知ることができました。対処法の中に「人に相談する」方法がありますが、「SCに相談する」ということも選択肢の一つであることを伝えました。本校のSCは浦木先生ですが、中学校に進学すると中学校にもSCがおられます。心と体はつながっています。子ども達は思春期を迎え、不安や悩みが膨らんでくるかもしれません。また、新型コロナウイルスの影響で、思い通りにならない不自由な生活のため、様々なストレスを抱えていると思います。その時々自分に合った方法でストレスをためないようにしていきたいものです。

学校保健委員会の様子



スケート教室(1/18)



「今年こそスキー教室を！」と思って当初は計画しておりましたが、コロナウィルス感染拡大地域からの不特定多数者のスキー場利用という感染リスクを考え、湖遊館にてスケート教室を行いました。「スキーが良かったな。」と思っている子どももいたことでしょう。そんな不満は微塵も見せず、一日スケートを楽しみました。



このスケート教室で赤屋っ子たちの素晴らしいところを、また見つけました。それは、「教わったことを着実にしようとする」ところです。湖遊館の職員さんから教わった氷の上での基本姿勢や滑り方を、何度も繰り返し練習していました。そして、短時間で見違えるほど上達しました。友達同士助け合い、声をかけ合い、仲良く安全に楽しむことができ、「すてきな学校」にまた一歩近づいたと思いました。

このスケート教室にと、妹尾善治様よりご寄附をいただいております。お礼申し上げます。

